

<処理方式> (生ごみ処理機購入者のみへの質問)

7 購入された生ごみ処理機の処理方法は。

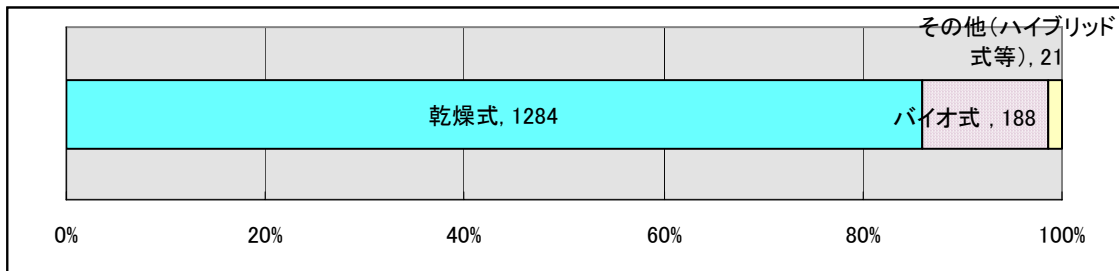
- (1) 乾燥式 (2) バイオ式 (3) その他 ( ) 式

「乾燥式」とは熱や風により生ごみの水分を蒸発させ乾燥により減量化する方式です。

「バイオ式」とはバイオチップ等による微生物の働きで生ごみを分解し、堆肥化する方式です。

<結果>

乾燥式の購入者が最も多く、全体の 85.3%を占めていました。



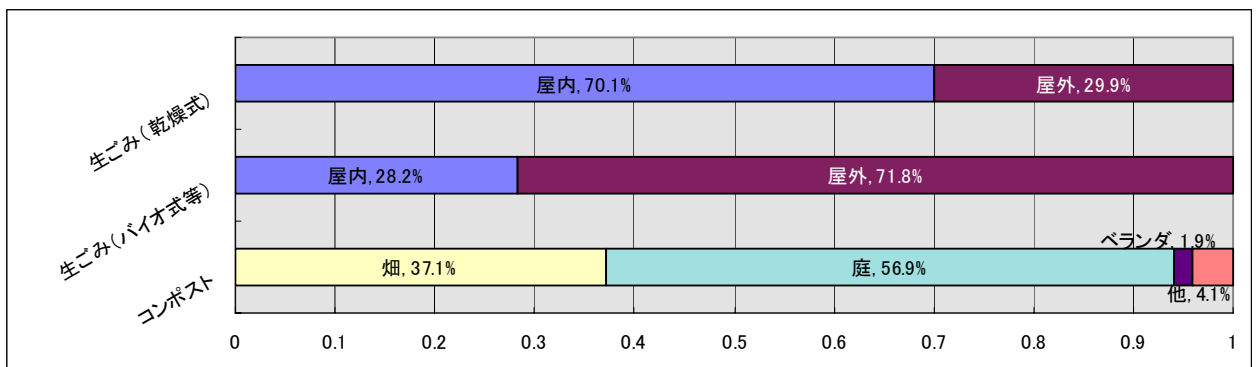
<設置場所>

8 設置場所はどこですか。(選択肢：上段は生ごみ処理機、下段はコンポスト容器)

- (1) 屋内(場所… ) (2) 屋外(場所… )  
 (1) 畑 (2) 庭 (3) ベランダ (4) その他 ( )

<結果>

乾燥式の生ごみ処理機では屋内設置が 70.1%を占めましたが、バイオ式の生ごみ処理機は屋外への設置が 71.8%を占めました。屋内の設置場所として、台所が最も多くあげられていました。コンポスト容器については、庭への設置が 56.9%でした。



## <利用状況>

9 利用状況は。

(1) 毎日利用している (2) ときどき利用している (3) 利用していない

(3) を選択された方は、利用していない理由を御記入ください。

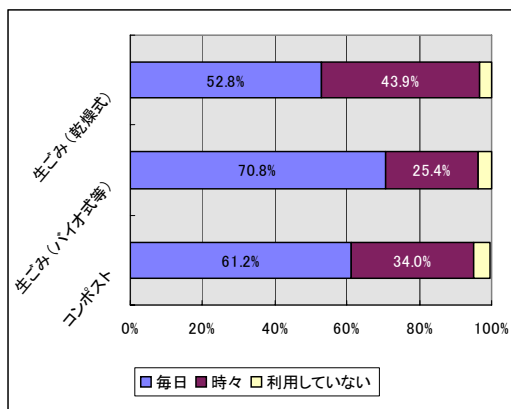
10 生ごみの投入量はどれぐらいですか？

(1) 全部 (2) 可能なだけ (3) 堆肥にしたい分だけ (4) その他(生ごみの 割程度)

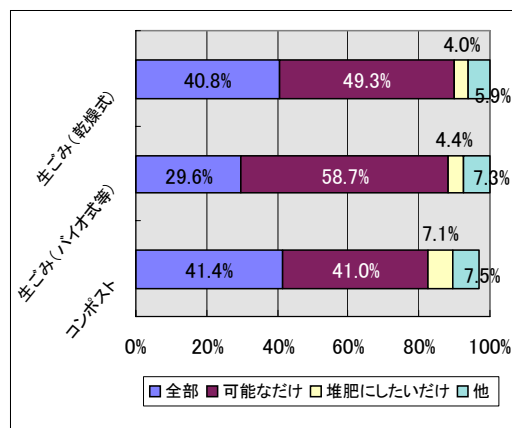
<結果>

利用頻度は、毎日利用しているが過半数を占め、ときどき利用しているをあわせると 95%以上の人が活用していました。利用していない理由は、「電気代」、「処理時の臭い」、「処理時間の長さ」等があげられていました。投入量は、可能なだけ投入するが過半数を占め、乾燥式とコンポストでは、全部投入するという回答も 4 割以上ありました。

9



10



## <生ごみ排出量の変化>

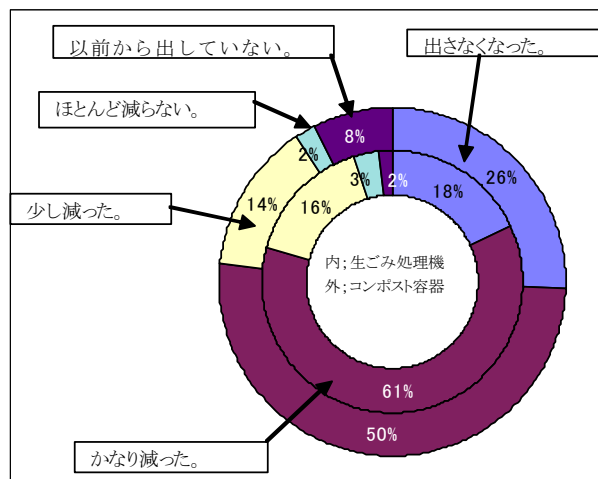
11 利用してから、生ごみを出す量は変化しましたか。

(1) 出さなくなった (2) かなり減った (3) 少し減った

(4) ほとんど減っていない (5) 以前から出していない(コンポストなどを使っていた)

<結果>

出さなくなった、かなり減ったを合わせると、全体の 79.6% で、ほとんど減っていないは 2.9% でした。



＜処理後の生ごみの利用方法＞

12 処理された物の利用方法はどのようにされていますか。(複数回答可)

(1) 花壇や菜園等の肥料として利用している。(2) プランターや植木鉢の肥料として利用している。

(3) 一般ごみとして、他の家庭ごみと一緒に排出している。(4) その他( )

＜結果＞

畑、菜園、プランターを合わせると、堆肥としての利用は、コンポスト容器で最も多く90.5%、生ごみ処理機のバイオ式で80.1%、生ごみ処理機の乾燥式で64.1%でした。

